

ショッピングセンターで大地震が 起きたときどう逃げようか？

3班 班員

・高山 晶太 中3
・近藤 心菜 中1
・米持 櫻子 小6

・山村 祐寧 小6
・近藤 拓磨 小6
・荒井 芽生 小5

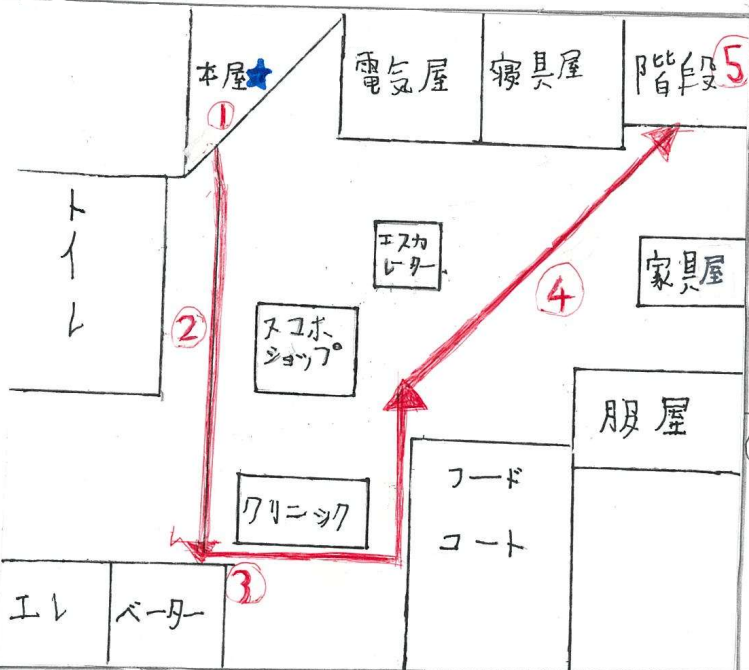
〔陸前高田での学び〕

- ・気仙中学校はすごくこわれていたのでつなみの力はすごいことを学びました。
- ・津波が地上へと到達したときの^{とつた}時速がオリンピックの100mの選手と同じくらいだということを知りました。なので津波が来てから逃げるのでは手遅れだということを知りました。

〔想定条件〕 マグニチュード: 9.0 震度: 7 津波の有無: 有(海沿いエリア) 季節: 夏
ショッピングセンター 3階の本屋へと買い物に行ったとき

○〈避難行動計画〉

～ スタート～



① 本で頭を守る。

〔理由〕
本棚がたおれて来るかもしれないから。

② トイレとスマホショップの間を通る

〔理由〕電気屋は電地から危険な物質が漏れ、火災の危険性があるから間を通る。

③ フードコートのよこを通る。

〔理由〕火災がおきるかもしれないけどおにぎりはもうないから。

④ 服屋、家具屋を木壁かさけて移動。

〔理由〕服屋は服に火がもえつて危険かも、家具屋は家具が落ちてるかもしれないからこの店の間を通る

⑤ 上記の行動を取り、地上へ階段で避難
津波を想定し、高台へ

〔理由〕エスカレーターやエレベーターは動いてないかもだし危険。地上へ行って津波が来るかもしれないから高い場所へ行く。

～ ゴール～

〔根拠〕

○ エスカレーターを下りても自動ドアがあかないので、階段を使い避難する

○ 津波の映像を見て、意識が変り、高い場所に避難することを最優先した

〔まとめ〕

体験事業を通じて、実際に陸前高田市へと行ったことによりインターネットには載っていない事実を学びました。その上、実際に被害に遭った建物を見学したことにより地震の恐ろしさを痛感しました。